

# 将来の観測装置開発： エネルギーの高いX線=硬X線の桁違いの高感度観測の実現へ

将来衛星計画 FORCE  
(2030年ごろ打ち上げ目標)

重さ 1t  
長さ 12 m

XMM-Newton Galactic Center  
ESA/XMM/Ponti+ 2015

2030年代の世界最高感度の  
硬X線プローブ  
→熱的放射の上端と、非熱的放射  
の下端をつなぐ、鍵となる帯域

FORCE向け検出器開発

CdTeイメージャ



COSI  
THE COMPTON SPECTROMETER AND IMAGER

Ge半導体コンプトンカメラでガンマ線輝線を観測

HOME

©COSI team  
<https://cosi.ssl.berkeley.edu>



COSI衛星はNASAの最終のセレクションの直前で、選定されれば、2025年にもフライト。名大も参画。

COSI team/NASA

MeVガンマ線気球実証機 miniSGD

シールド用読み出し系



FORCEと共通の半導体+シンチレータ技術でより高いエネルギーMeV帯域の感度を大きく改善することを目指す技術実証の気球実験